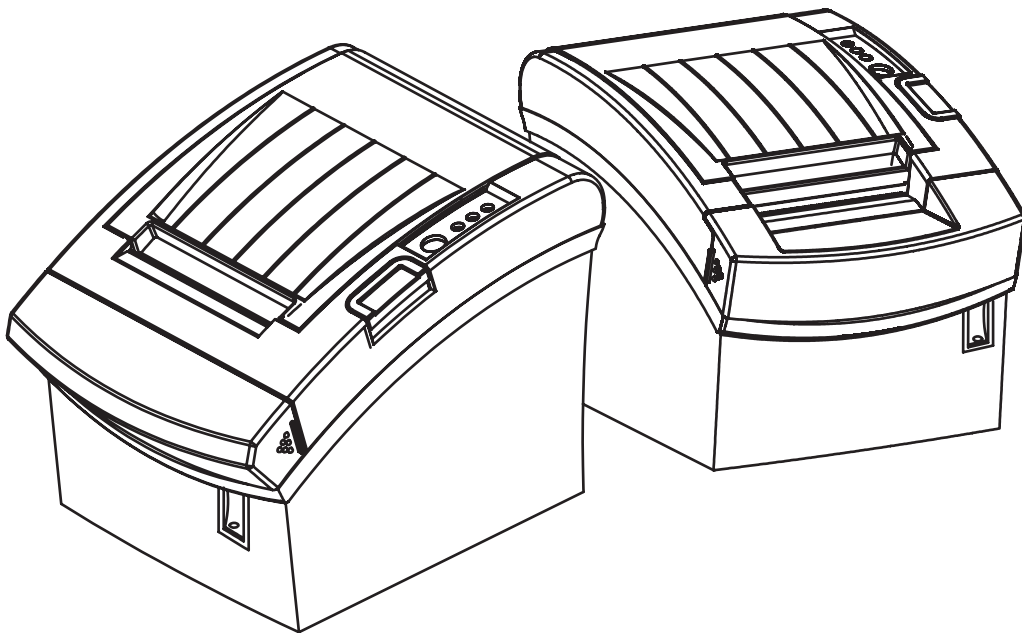


BIXOLON®

ユーザーズマニュアル

SRP-350/352plusA&C

端末プリンター
改訂版1.00



<http://www.bixolon.com>

■ 安全に関する注意事項

この機器を使用する際、危険または物質的損傷を避けるため以下の安全規定に従ってください。

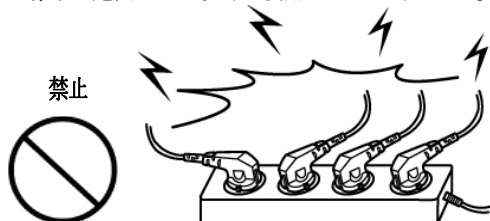


警告

指示に従わないと、重大なケガまたは死につながる場合があります。

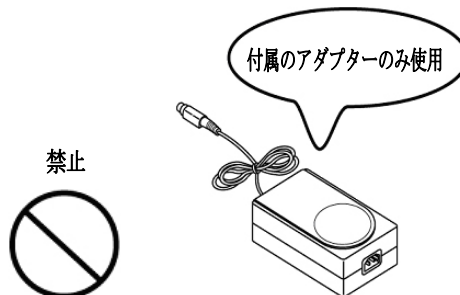
延長コードに複数の製品を接続しないでください。

- ・ 過熱および火災を引き起こす場合があります。
- ・ プラグが濡れたり汚れたりしている場合は、拭いてからご使用ください。
- ・ プラグが差し込み口に完全に適合しない場合は、無理に差し込まないでください。
- ・ 標準の延長コード以外は使用しないでください。



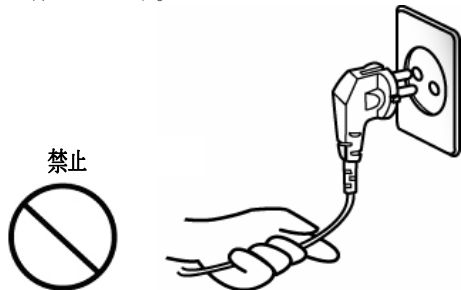
付属のアダプター以外は使用しないでください。

- ・ 別のアダプターを使用すると危険です。



プラグを抜くときは、ケーブルを引っ張らないでください。

- ・ ケーブルを損傷し、火災やプリンターの故障につながる場合があります。



外装はお子様の手の届かない場所に保管してください。

- ・ プラスチック袋を頭にかぶり、窒息することがあります。



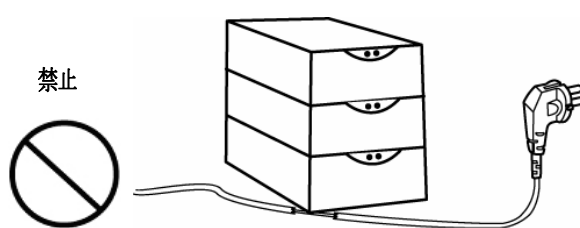
濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。

- ・ 感電する場合があります。



ケーブルを無理に曲げたり、重い物の下に置かないでください。

- ・ ケーブルを損傷して火災を引き起こす場合があります。





注意

指示に従わないと、ケガをしたり、装置を損傷したりする場合があります。

プリンターからの異常な煙、臭気、音に気が付いたら、以下を行ってからプラグを抜いてください。

- ・ プリンターの電源を切り、本体からプラグを抜く。
- ・ 煙が消えたら、販売店に修理を依頼する。

プラグを抜く



乾燥剤はお子様の手の届かない場所に保管してください。

- ・ 誤って口に入れる場合があります。

禁止



プリンターは安定した場所に設置してください。

- ・ プリンターが落下すると、破損したり、ケガをしたりすることがあります。

禁止



認証された付属品以外は使用しないでください。プリンターおよび付属品を分解、修理、改造は行わないでください。

- ・ 保守が必要な場合は、販売店に連絡してください。
- ・ オートカッターの刃に触れないでください。

分解禁止



プリンターに水やその他異物が入らないようにしてください。

- ・ 万が一入った場合は、電源を切り、プラグを抜いてから販売店に連絡してください。

禁止



プリンターが故障した場合は、使用しないでください。火災や感電を引き起こす場合があります。

- ・ 電源を切り、プラグを抜いてから販売店に連絡してください。

プラグを抜く



■ 警告 - U.S.A

この装置は、FCC規定の15条項に準拠してクラスA デジタルデバイスの制限に関する試験を実施し、その準拠が検証されています。これは、装置が商用環境で操作される場合に、危険な干渉に対して適切な保護を提供するための制限です。この装置は無線周波数エネルギーを発生、使用、放射します。設置説明書に従って設置/使用されないと、無線通信に有害な障害を起こすことがあります。住居地でこの装置を操作する場合は、危険な干渉が発生しても、その干渉の修正は自己負担で行わなければなりません。

■ 注意 - カナダ

この機器は、Canadian department of communications radio interference regulations(カナダ通信省無線障害規制)で指定される無線干渉に対するクラスA 制限に準拠しています。

■ 注意

半導体装置には、静電気ですぐに損傷を受けるものがあります。プリンターを静電気から守るため、背面にケーブルを差し込む/取り外す前には、必ずプリンターの電源をお切りください。静電気ですぐにプリンターを損傷した場合は、必ずプリンターの電源をお切りください。

■ WEEE

(Waste Electrical and Electric Equipment : 廃電気電子機器)



このマークが製品または製品説明書に付いている場合は、寿命が切れた場合に他の一般家庭ごみと一緒に廃棄してはいけません。規制に従わない廃棄物による環境または身体への悪影響を防ぐため、マークが付いた製品は他の種類のごみと分別し、リサイクルして材料資源の再利用に貢献してください。家庭のユーザーは、本製品を購入した販売店または地域の政府機関に連絡して、製品を環境的に安全なリサイクルを行うための場所や方法に関する情報を入手してください。商業ユーザーは、購入元(サプライヤー)に連絡し、購入契約の利用規約について確認してください。本製品は、他の商業廃棄物と混ぜて廃棄してはいけません。

■ ラベルの材質

* 制御ラベル : PC

* その他のラベル : PET

■ はじめに

SRP-350/352plus Roll Printer は、システムECR、POS、銀行装置、コンピュータ周辺機器などの電気機器に接続して使用する装置です。

このプリンタの主な機能：

1. 高速印刷：1秒間に47/52 (1/6" 送り) 行印字
2. ノイズの少ない感熱印刷
3. データバッファにより印刷中も本体に印字データを送信可能
4. 周辺機器用駆動回路でキャッシュレジスタなどの外部装置の制御可能
5. 文字を最大64倍まで拡張可能
6. バーコード コマンドによるバーコード印刷に対応
7. ディップスイッチにより異なる印字濃度を選択可能

新しいSRP-350/352plusを使用する前に、必ずこの説明書を注意深くお読みください。

※ 注記

装置の近くにあり、アクセスしやすいコンセント差し込み口をご利用ください。

※ 仕様はすべて通知なしに変更されることがあります。

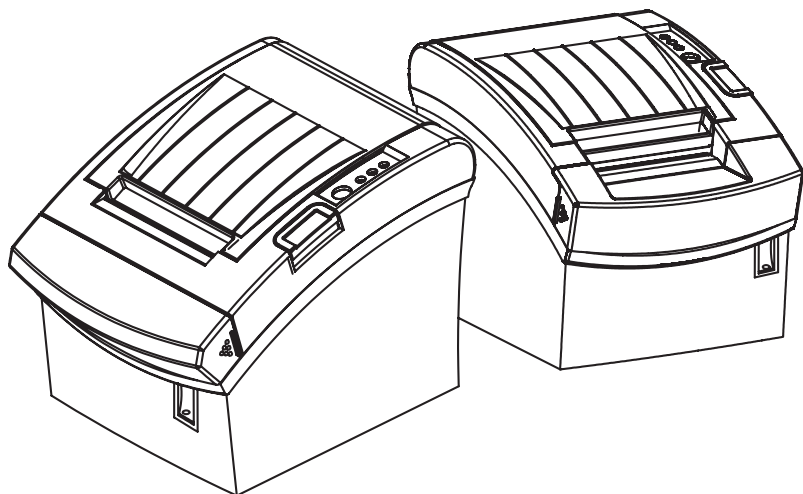
■ 目次

1. プリンターのセットアップ	7
1-1 開封	7
1-2 ケーブルを接続する	8
1-2-1 シリアルインタフェース(RS-232C)	8
1-2-2 パラレルインタフェース(IEEE1284)	9
1-2-3 USB2.0 インタフェース	10
1-3 ドロワを接続する	10
1-4 ディップスイッチを設定する	11
1-4-1 シリアルインタフェース(RS-232C)	11
1-4-2 パラレルとUSB2.0 インタフェース	11
1-4-3 オートカッター有効/無効の選択	12
1-5 メモリスイッチを設定する	13
1-6 ロール紙の設置と交換	15
1-7 設定と調整	17
1-8 プリンターの使用	17
1-9 コンピュータを接続する	18
1-10 電源に接続する	18
2. セルフテスト	19
3. 16進ダンプ	20
4. 仕様	21
5. 付録	22
5-1 プリンターの掃除	22

1. プリンターのセットアップ

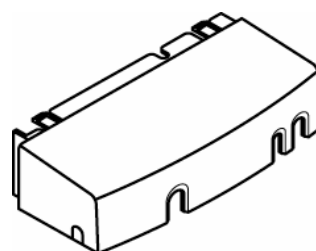
1-1 開封

プリンターの梱包には以下が含まれています。破損していたり入っていない場合は、販売店にご連絡ください。

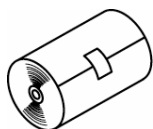


SRP-350/352plusC

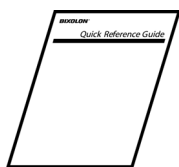
SRP-350/352plusA



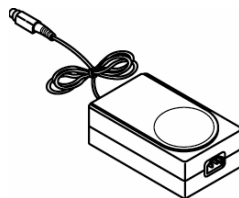
ケーブルカバー



ロール紙



説明書



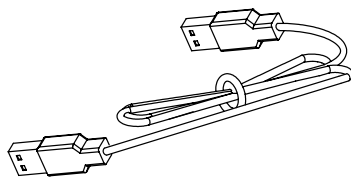
AC アダプタ



電力コード



CD



USB A-A ケーブル

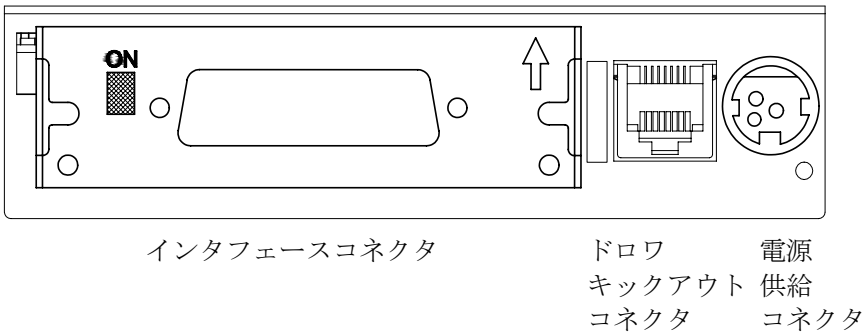
1-2 ケーブルを接続する

プリンターには最大3本のケーブルが接続できます。ケーブルはすべてプリンタ背面のコネクタパネルに接続します(下図参照)。

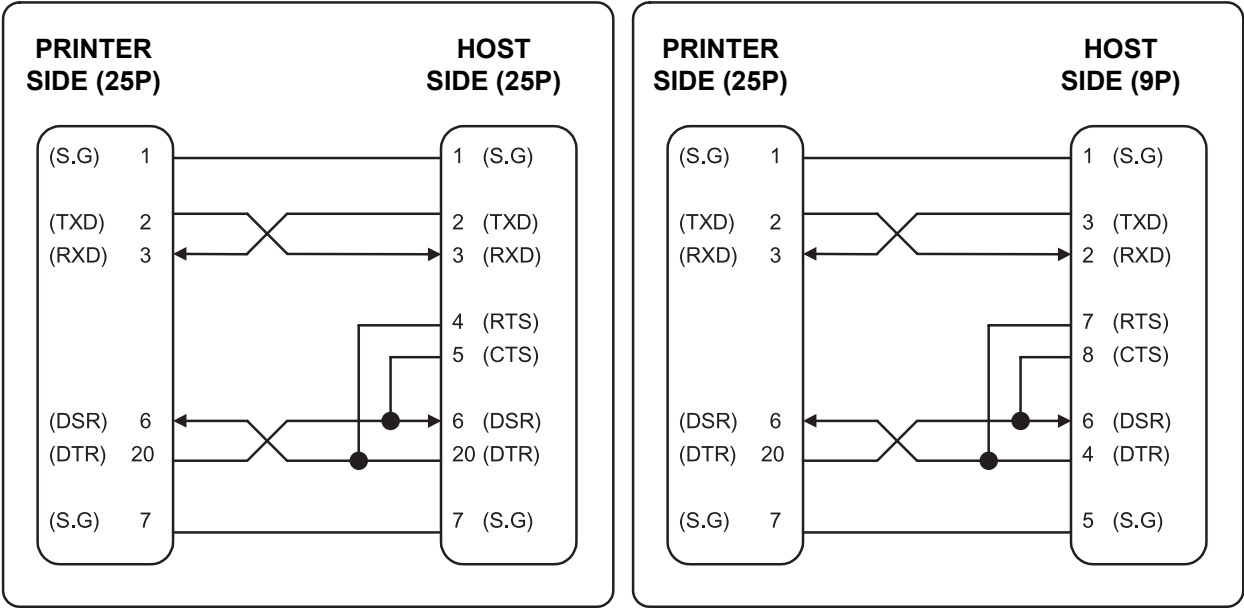
※ 注記

ケーブルを接続する前には、必ずプリンターとホストの両方の電源が切れていることを確認してください。

1-2-1 シリアルインタフェース(RS-232C)

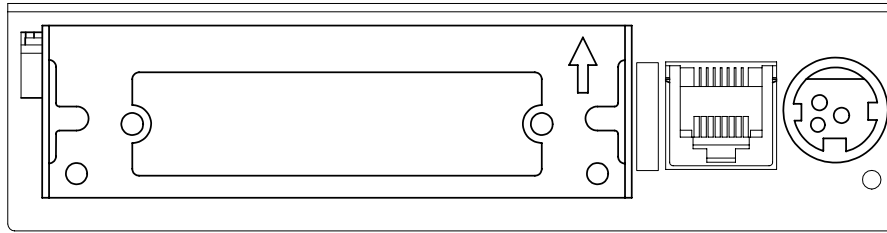


※ シリアルインタフェースボードのディップスイッチが「ON」のとき、DTRとRTSを互いに接続します。



ピン番号	信号	方向	機能
1	FG	-	筐体接地
2	TxD	出力	データ送信
3	RxD	入力	データ受信
4	RTS	出力	送信要求
5	CTS	入力	送信可
6	DSR	入力	データセットレディ
7	SG	-	信号接地
20	DTR	出力	データ端末レディ

1-2-2 パラレルインタフェース(IEEE1284)

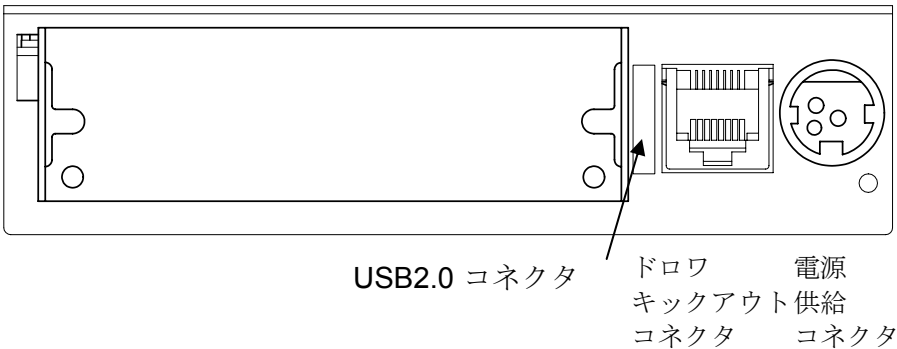


インタフェースコネクタ

ドロワ 電源
キックアウト供給
コネクタ コネクタ

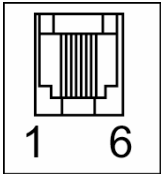
ピン番号	ソース	互換モード	ニブルモード	バイトモード
1	ホスト	nStrobe	HostClk	HostClk
2	ホスト/プリンター	データ0 (LSB)	-	データ0 (LSB)
3	ホスト/プリンター	データ1	-	データ1
4	ホスト/プリンター	データ2	-	データ2
5	ホスト/プリンター	データ3	-	データ3
6	ホスト/プリンター	データ4	-	データ4
7	ホスト/プリンター	データ5	-	データ5
8	ホスト/プリンター	データ6	-	データ6
9	ホスト/プリンター	データ7 (MSB)	-	データ7 (MSB)
10	プリンター	nAck	PtrClk	PtrClk
11	プリンター	使用中	PtrBusy /Data3,7	PtrBusy
12	プリンター	Perror	AckDataReq/Data2, 6	AckDataReq
13	プリンター	選択	Xflag /Data1,5	Xflag
14	ホスト	nAutoFd	HostBusy	HostBusy
15		NC	NC	NC
16		GND	GND	GND
17		FG	FG	FG
18	プリンター	Logic-H	Logic-H	Logic-H
19~30		GND	GND	GND
31	ホスト	nInit	nInit	nInit
32	プリンター	nFault	nDataAvail /Data0,4	nDataAvail
33		GND	ND	ND
34	プリンター	DK_Status	ND	ND
35	プリンター	+5V	ND	ND
36	ホスト	nSelectIn	1284-Active	1284-Active

1-2-3 USB2.0 インタフェース



ピン番号	信号	割付 (色)	機能
シェル	Shield	添え線	筐体接地
1	VBUS	赤	ホスト電源
2	D-	白	データ行 (D-)
3	D+	緑	データ行 (D+)
4	GND	黒	信号接地

1-3 ドロワを接続する



※ 警告
プリンターの仕様に合うドロワをお使いください。合わないドロワを使用すると、ドロワだけでなくプリンターを損傷することがあります。

※ 注意
電話線をドロワキックアウトコネクタに接続しないでください。接続すると、プリンターや電話線を損傷することがあります。

ドロワケーブルは、プリンター背面の電源供給コネクタ横のドロワキックアウトコネクタに接続します。

ピン番号	信号	方向
1	筐体接地	-
2	ドロワキックアウト駆動信号1	出力
3	ドロワ開閉信号	入力
4	+24V	-
5	ドロワキックアウト駆動信号2	出力
6	信号接地	-

※ ドロワポートは、24Vdc/2.5A 出力定格、クラス1

1-4 ディップスイッチを設定する**1-4-1 シリアルインタフェース(RS-232C)**

• ディップスイッチ1

スイッチ	機能	ON	OFF	デフォルト
1-1	自動行送り	有効	無効	OFF
1-2	ハンドシェーキング	XON/XOFF	DTR/DSR	OFF
1-3	データ長	7ビット	8ビット	OFF
1-4	パリティチェック	あり	なし	OFF
1-5	パリティ選択	偶数	奇数	OFF
1-6	ボーレート選択(bps)	下表1を参照のこと		OFF
1-7				ON
1-8				OFF

• ディップスイッチ2

スイッチ	機能	ON	OFF	デフォルト
2-1	予備	-	-	OFF
2-2	内部ベル制御	内部ベル無効	内部ベル有効	OFF
2-3	オートカッター	無効	有効	OFF
2-4	BUSY 条件	バッファルを受信	* オフライン * バッファルを受信	OFF
2-5	印刷濃度	下表2を参照のこと		OFF
2-6				OFF
2-7				OFF
2-8	ニアエンドセンサの状態	無効	有効	OFF

1-4-2 パラレルとUSB2.0 インタフェース

• ディップスイッチ1

スイッチ	機能	ON	OFF	デフォルト
1-1	自動行送り	有効	無効	OFF
1-2 ~ 1-6	予備	-	-	OFF
1-7	予備	-	-	ON
1-8	予備	-	-	OFF

• ディップスイッチ2

スイッチ	機能	ON	OFF	デフォルト
2-1	予備	-	-	OFF
2-2	内部ベル制御	内部ベル無効	内部ベル有効	OFF
2-3	オートカッター	無効	有効	OFF
2-4	BUSY 条件	バッファルを受信	* オフライン * バッファルを受信	OFF
2-5	印刷濃度	下表2を参照のこと		OFF
2-6				OFF
2-7				OFF
2-8	ニアエンドセンサの状態	無効	有効	OFF

• 表1 – ボーレート(bps)選択

伝送速度	1-6	1-7	1-8	デフォルト
2400	ON	OFF	OFF	9600
4800	ON	OFF	ON	
9600	OFF	ON	OFF	
19200	OFF	OFF	OFF	
38400	OFF	ON	ON	
57600	OFF	OFF	ON	
115200	ON	ON	ON	

• 表2 – 印字濃度選択

2-5	2-6	2-7	印字濃度(単色)	デフォルト
ON	ON	予備	1(淡い)	2
OFF	OFF	予備	2	
ON	OFF	予備	3	
OFF	ON	予備	4(濃い)	
2-5	2-6	2-7	印字濃度(二色)	デフォルト
ON	ON	ON	80%	100%
ON	ON	OFF	90%	
OFF	OFF	ON	95%	
OFF	OFF	OFF	100%	
ON	OFF	ON	105%	
ON	OFF	OFF	110%	
OFF	ON	ON	120%	
OFF	ON	OFF	130%	

1-4-3 オートカッター有効/無効の選択

ディップスイッチ設定2		
SW 2-3	ON	オートカッター無効
	OFF	オートカッター有効
アプリケーション	オートカッターエラーを無視して印刷を続ける	

1-5 メモリスイッチを設定する

このプリンターには、ソフトウェアで設定する「メモリスイッチ」があります。メモリスイッチには、“MSW1”、“MSW2”、“MSW8”、“MSW9”、“Customize value(ユーザー設定)”、“Serial communication condition(シリアル通信)”があります。

「Memory Switch setting utility(メモリスイッチ設定ユーティリティ)」で、下表に示すようにメモリスイッチのON/OFF設定を変更します。(デフォルトはすべてOFF)

※ 注記

メモリスイッチは**2**つの方法で変更可能です。

- メモリスイッチ設定ユーティリティ
- ESC/POS コマンドによる制御

メモリスイッチの設定は、**NV** メモリに保存されます。そのため、プリンターの電源が切れても設定は保持されます。

MSW1

スイッチ	機能	ON	OFF
1~8	予備	--	OFF に固定

MSW2

スイッチ	機能	ON	OFF
1	フォント選択	フォントB (9 x 24)	フォントA (12 x 24)
2	オートカッター機能	フルカット	パーシャルカット
3~8	コードページ選択	下表参照	

SRP-350/352plusA&C

MSW2-8	MSW2-7	MSW2-6	MSW2-5	MSW2-4	MSW2-3	文字表
OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ページ0 437 (アメリカ、欧州標準)
OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ページ1 カタカナ
OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ページ2 850 (多言語)
OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF	ページ3 860 (ポルトガル語)
OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	ページ4 863 (フランス語-カナダ)
OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ページ5 865 (北欧)
OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ページ16 1252 (ラテン語I)
OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	ページ17 866 (キリル語#2)
OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	ページ18 852 (ラテン語2)
OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ページ19 858 (欧州)
OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	ページ21 862 (ハブライDOSコード)
OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF	ページ22 864 (アラビア語)
OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ページ23 タイ42
OFF	ON	ON	OFF	ON	OFF	ページ24 1253 (ギリシャ語)
OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	ページ25 1254 (トルコ語)
OFF	ON	ON	ON	ON	OFF	ページ26 1257 (バルト語)
ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ページ27 ペルシャ語
ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ページ28 1251 (キリル語)
ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ページ29 737 (ギリシャ語)
ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	ページ30 775 (バルト語)
ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	ページ31 タイ14
ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ページ32 ハブライ語旧コード
ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ページ33 1255 (ハブライ語新コード)
ON	OFF	ON	ON	ON	OFF	ページ34 タイ11
ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	ページ35 タイ18
ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ページ36 855 (キリル語)
ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	ページ37 857 (トルコ語)
ON	ON	OFF	ON	ON	OFF	ページ38 928 (ギリシャ語)
ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ページ39 タイ16
ON	ON	ON	OFF	ON	OFF	ページ40 1256 (アラビア語)

MSW8

スイッチ	機能	ON	OFF
1~8	予備	--	OFF に固定

MSW9

スイッチ	機能	ON	OFF
1~8	予備	--	OFF に固定

MSW10 (特殊機能1)

スイッチ	機能	ON	OFF
1	外部ブザー制御 (この機能は用紙切り取り後のみ実行可能)	外部ブザー有効	外部ブザー無効
2~4	予備	--	OFF に固定
5	印字幅	2インチ	3インチ
6	2色印刷	有効	無効
7~8	予備	--	OFF に固定

MSW11 (特殊機能2)

スイッチ	機能	ON	OFF
1~8	予備	--	OFF に固定

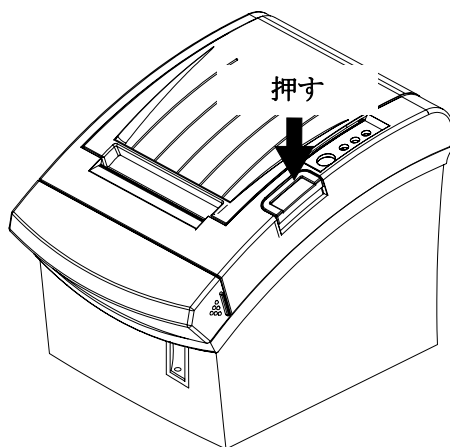
1-6 ロール紙の設置と交換

※ 注記

必ず仕様に合ったロール紙をご使用ください。芯に用紙を貼り付けてあるロール紙は使わないでください。プリンターが用紙の終わりを正しく検知できなくなります。

1-6-1 プリンターがデータ受信中でないことを確認します。受信中のときはそのデータを損失します。

1-6-2 カバー開きボタンを押してロール紙カバーを開きます。

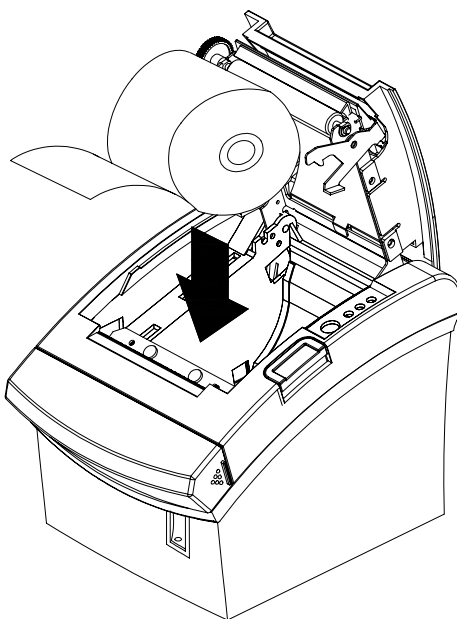


※ 注記

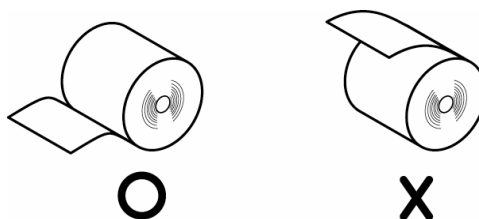
印字中はカバーを開けないでください。開けるとプリンターを損傷することがあります。

1-6-3 使用済みの芯を取り外します。

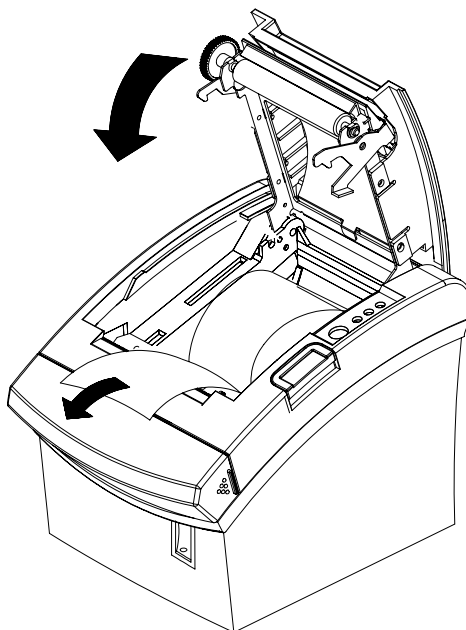
1-6-4 ロール紙を挿入します(下図参照)。



1-6-5 用紙の取り出し方向が正しいか確認します。



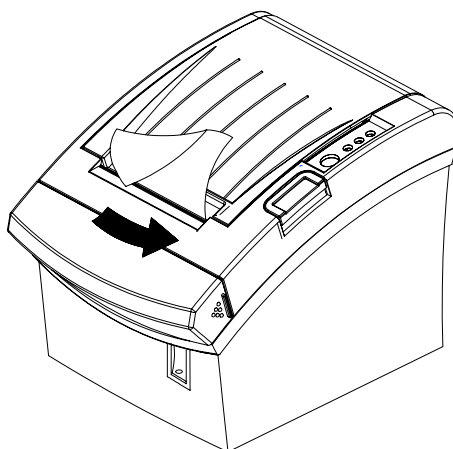
1-6-6 用紙を少し引き出します(下図参照)。カバーを閉じます。



※ 注記

カバーを閉じるとき、プリンターカバーの中央をしっかり押して用紙の送りエラーにならないようにします。

1-6-7 余分な用紙を切り取ります(下図参照)。

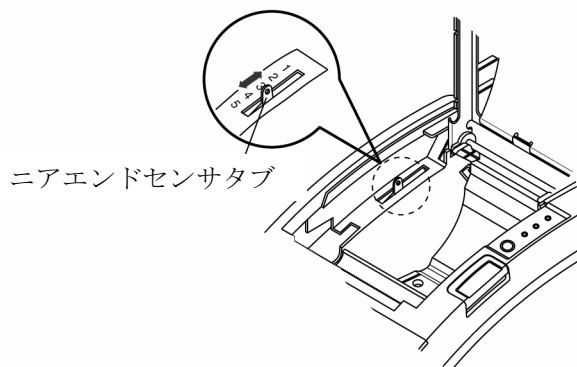


1-7 設定と調整

SRP-350/352plus は、ほとんどのユーザーが使えるように予め設定されています。特別な要求がある場合は、ユーザーが設定できます。

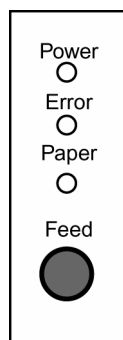
印字濃度のほかにもハンドシェーキングやパリティチェックなど通信設定を変更するディップスイッチが付いています。

SRP-350/352plus には、用紙のニアエンドセンサも付いています。これは、用紙の終わりが近いことを知らせるセンサです。ニアエンドセンサが作動したときに印字用紙が足りない場合は、ニアエンドセンサの設定を変更することができます。ニアエンドセンサタブを前後に動かして変更します。(下図参照)



1-8 プリンターの使用

コントロールパネル



○ POWER(電源)

プリンターの電源が入っているときにランプが点灯します。

○ ERROR(エラー)

エラーを知らせます。

○ PAPER(用紙)

ロール紙の残りが少ないことを知らせます。新しいロール紙を入れると続けて印字します。点滅は、セルフテスト準備完了またはマクロ実行コマンドを使ったときにマクロ実行準備完了であることを意味します。

○ FEED(紙送り)

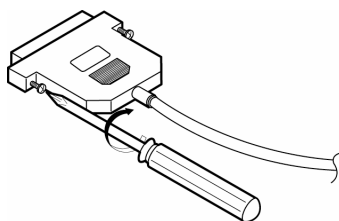
このボタンは**ESC c 5** コマンドで無効にできます。[FEED]ボタンを押すと用紙を1行分送ります。[]ボタンを押し続けると用紙を送り続けることができます。

1-9 コンピュータを接続する

適切なインタフェースケーブルが必要です。

1-9-1 ケーブルコネクタをプリンターのインタフェースコネクタにしっかりと差し込みます。

1-9-2 ケーブルコネクタ両端のネジを締めます。



1-9-3 ケーブルのもう一方の端をコンピュータに接続します。

1-10 電源に接続する

※ 注意

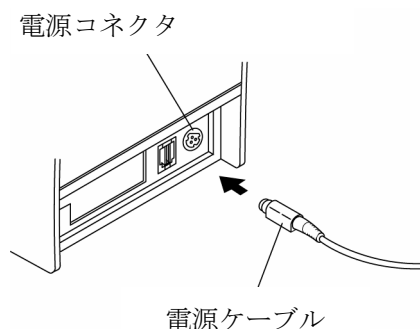
プリンターに電源コードを接続したりプリンターから電源コードを取り外すときは、必ず電源コードがコンセントから外れていることを確認してください。コンセントに接続されていると、コンセントまたはプリンターを損傷することがあります。

電源の定格圧力とコンセントの電圧が同じでない場合は、販売店にご連絡ください。その場合、電源コードを差し込まないでください。差し込むと、コンセントまたはプリンターを損傷することがあります。

1-10-1 必ずプリンターの電源スイッチが切れていること、プリンターの電源コードがコンセントから外れていることを確認します。

1-10-2 電源コードのラベルを確認して、電源コードの電圧仕様とコンセントの仕様が同じであることを確認します。

1-10-3 電源コードをコンセントに差し込みます(下図参照)。プラグの平らな部分が下になるように差し込みます。



※ 注記

DCケーブルコネクタを取り外すときは、電源コードが抜かれていることを確認してからコネクタの矢印部分をつかんで真直ぐ引き抜きます。

2. セルフテスト

セルフテストは、プリンターに問題がないかどうかを確認します。プリンターが正しく動作しないときは、販売店にご連絡ください。セルフテストは以下の手順で行います。

2-1 ロール紙が正しく設置されていることを確認します。

2-2 [FEED]ボタンを押しながら電源を入れます。セルフテストが始まります。

2-3 セルフテストが、制御ROMのバージョンやディップスイッチの設定など、プリンターの現在の状態を印刷します。

2-4 状態の印刷が終了すると、以下を印刷し待ち状態になります(PAPER LEDランプ点滅)。

Self-test printing
Please press the FEED button

(セルフテスト印字中).
(FEEDボタンを押してください)

2-5 [FEED]ボタンを押して印刷を続けます。

プリンターは内蔵された文字セットを使ってパターン印字をします。

2-6 セルフテストは次の文字を印字してから自動的に終了し、用紙を切り取ります。

***** COMPLETED *****
(完了)

2-7 セルフテストが完了すると、プリンターはデータを受信することができます。

3. 16進ダンプ

この機能で、ユーザーがプリンターに送信される実データを見ることができます。
これは、ソフトウェアの問題解決に役立ちます。16進ダンプ機能を実行すると、プリンターはガイド文字と一緒にすべてのコマンドやデータを16進数で印字するため、特定のコマンドを見つけることができます。

16進ダンプ機能を遣うには次の操作をします。

3-1 プリンターの電源が切れていることを確認してからカバーを開きます。

3-2 [FEED]ボタンを押しながらプリンターの電源を入れます。

3-3 カバーを閉じるとプリンターは16進ダンプモードに切り替わります。

3-4 プリンターにデータを送信するソフトウェアプログラムを実行します。プリンターは受信したすべてのコードを2段組み形式で印字します。1段目に16進コード、2段目にコードに対応するASCII文字を印字します。

```

1B 21 00 1B 26 02 40 40 40 40    . ! . . & . @ @ @ @
02 0D 1B 44 0A 14 1E 28 28 28    . . . D . . . . ( ( (
00 01 0A 41 0D 42 0A 43 43 43    . . . A . B . C C C

```

印字されるピリオド(.)は、対応するASCII文字がないことを意味します。16進ダンプを実行中は、DLE EOTおよびDLE ENQを除くすべてのコマンドは無効です。

3-5 印字が終了したらプリンターの電源を切ります。

3-6 プリンターの電源を入れると16進モードがオフになります。

4. 仕様

	項目	詳細
プリンター	印刷方式	感熱式ライン印刷
	ドット濃度	SRP-350plus:180 X 180 dpi (7dots/mm) SRP-352plus:203 X 203 dpi (8dots/mm)
	印字幅	72mm
	1行の文字数 (デフォルト)	SRP-350plus:42 (フォント A) / 56 (フォントB) SRP-352plus:48 (フォントA) / 64 (フォントB)
	印字速度 *1)	SRP-350plus:47 行/秒、200 mm/秒 SRP-352plus:52 行/秒、195 mm/秒
	受信バッファサイズ	4K バイト
	SMPS 入力電圧	100~240 VAC
	周波数	50/60 Hz
	SMPS 出力電圧	24 VDC
	温度	0 ~ 45 °C (使用時) -10 ~ 50 °C (保管時)
	湿度	30 ~ 80 % RH (使用時) 10 ~ 90 % RH (保管時) 用紙除く
	オートカッター	1,800,000 回
	構造 MCBF *2)	70,000,000 行
用紙	用紙タイプ	ロール紙
	ロール幅	79~80mm
	ロール直径	最大83mm
	紙厚	0.062~0.075mm
	芯	内径 : Ø12mm (0.47") 外径 : Ø18mm (0.71")

※ 注記

*1) 印字速度は、データ伝送速度と制御コマンドの組み合わせで異なるため、指定より遅くなることがあります。

*2) 上記の値は、正常温度で推奨用紙を使いレベル2印刷を実施したときの値です。値は、環境温度や印字レベルにより異なります。

5. 付録

5-1 プリンターの掃除

プリンター内部にホコリが溜まると印字品質が低くなる場合があります。以下の手順でプリンターを掃除してください。

5-1-1 プリンターカバーを開き、用紙を取り外します。

5-1-2 アルコールを湿らせた綿棒でプリントヘッドを掃除します。

5-1-3 水を湿らせた綿棒でプラテンと用紙エンドセンサを掃除します。

5-1-4 ロール紙を入れ、プリンターカバーを閉じます。

用紙ニアエンドセンサで検知される用紙残量は、用紙の芯の直径により異なります。

残量を調整する方法は、販売店にお問い合わせください。